

特講・社会福祉学23 (コミュニティ・ソーシャルワークⅣ)		科目コード	DT2223
単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	1年以上	高橋誠一・佐藤寿一・池田昌弘

※この科目は2023年度のみ開講予定です。

※スクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

ソーシャルワークにおけるケースワーク（個別支援）においてストレングス視点は広く理解されてきましたが、コミュニティ・ワーク（福祉の地域づくり）においても、ストレングス視点は重要なフレームワークです。この統一した視点から、コミュニティ・ソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターのコミュニティを基盤とする地域福祉支援活動を理解し、ミクロ、メゾ、マクロが重層する生活の場としてのコミュニティに福祉を取り戻すソーシャルワーク実践の理解を深めます。

■到達目標

- 1) 地域福祉について住民主体の視点から説明できる。
- 2) 地域福祉実践のインフォーマルな社会的資源と、その活用法を説明できる。
- 3) 社会福祉協議会におけるソーシャルワークの役割と活動を説明できる。
- 4) コミュニティを基盤としたソーシャルワークの意義と実践のための効果的な手法を説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	総論	コミュニティを基盤としたソーシャルワークの意義
2	地域福祉の展開	「地域共生社会」「地域包括ケア」の背景と展開
3	地域づくりと社会福祉協議会の役割と活動	社会福祉協議会の実践の具体的事例
4	住民主体の地域づくりをどう支援していくのか	パネルディスカッション
5	住民主体の地域づくり	グループワーク①
6	専門職連携と住民との協働①	宝塚市社協の実践事例から
7	専門職連携と住民との協働②	グループワーク②
8	まとめ	質疑応答、コミュニティを基盤としたソーシャルワークの実践の整理
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用し、途中ビデオなども見ながら講義を進めます。座学だけでなく、グループワークも行いますので、積極的参加が必須条件です。

■スクーリング 評価基準

授業への参加状況30%+スクーリング試験70%（持込可）。試験では、とくに「住民主体の地域福祉」についての理解を問います。

■スクーリング時の教科書

宝塚市社会福祉協議会編『市民がつくる地域福祉のすすめ方』全国コミュニティライフサポートセンター、2018年

配付資料も使用します。

※教科書は、スクーリング申込後、スクーリング受講料納入者へ送付しますので、履修登録時には配本されません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「地域共生社会」「社会的孤立」「専門職連携」「地域づくり」について、インターネットや専門雑誌、書籍などで調べてください。その他講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義内容からさらに深く学びたいと考えたことに対して、調べてみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「社会への関心と理解」「問題解決力」「社会貢献力」を身につけてほしい。

■参考図書

高橋誠一ほか編著『生活支援コーディネーター養成テキスト』CLC、2016年

高橋誠一ほか編著『改正介護保険における「新しい地域支援事業」の生活支援コーディネーターと協議体』CLC、2015年

池田昌弘著『マンガでわかる生活支援コーディネーターのための地域支え合いのを見つけ方・活かし方』CLC、2016年

高橋誠一、酒井保、池田昌弘著『コロナ下で考える 気にかけて合う地域づくり』CLC、2020年

■ゲスト講師紹介

元兵庫県宝塚市社会福祉協議会 常務理事 佐藤寿一

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC) 理事長 池田昌弘